

業種 ▶ 生保・損保  
構築システム ▶ 代理店業務システム



企業プロフィール

アフラック  
(アメリカンファミリー生命保険会社)

- 本社所在地  
東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル
- 代表者  
社長 外池 徹
- 総資産  
5兆9,392億円 (2009年3月末)
- 従業員数  
3,694名 (2009年3月末)
- 設立年  
1974年
- URL  
http://www.afiac.co.jp/

企業理念

- ◆新たな価値の創造  
若さと獨創性溢れる人間集団として、パイオニア精神をもって常に社会のニーズを先取りし、新たな価値の創造に努める。
- ◆お客様第一  
お客様のニーズに合致した商品と最善のサービスを常に最良の価格で提供することにより、お客様の信頼を高め、社会からの厚い信認を獲得する。
- ◆人間尊重  
社員やアソシエイツも含めたすべての人々を尊重し、常に事業と個人双方の継続的な成長を目指す。
- ◆法令等の遵守 (コンプライアンス)  
企業活動および業務遂行にあたっては、日米両国の法令や行動倫理憲章等の遵守をすべてに対して常に優先し、企業としての社会的責任を果たす。

システム開発会社プロフィール

株式会社JSOL  
東京本社：〒104-0053 東京都中央区晴海2-5-24 晴海センタービル  
大阪本社：〒550-0001 大阪市西区土佐堀2-2-4 土佐堀ダイヤビル  
代表者：代表取締役社長兼最高執行役員 小名木 正也  
資本金：50億円  
従業員数：1,300名 (2009年1月現在)  
設立年月日：2006年7月  
URL http://www.jsol.co.jp/

# Afiac アフラック (アメリカンファミリー生命保険会社)

## 保険代理店向けのマルチプラットフォーム対応 「新保険料照会システム」にNexawebを採用

保険商品や利用形態別にあったプログラムリソースを一元管理し、WEB/スタンドアローンシステム (オン/オフライン) 双方のユーザーインターフェイスの操作性を統一。全国約1万8千店ある保険代理店フロント業務のシステム構築。

### 導入背景と課題

- マルチプラットフォームとWeb、スタンドアローンシステム双方で稼動
- ユーザーの操作時のストレスの解消を実現

アフラックは、1974年に日本で初めて「がん保険」を発売して以来、医療保険など「生きるための保険」を中心に付加価値の高い商品やサービスを提供する生命保険会社として成長してきた。強力な販売チャネルとして全国に1万8千店を超える保険販売代理店網を有しているほか、現在、個人保険・個人年金保険合計の保有契約件数が1,800万件を超え、生保業界最多の契約件数を引き受けている。

全国約1万8千店に及ぶ代理店向けの保険料照会システムの再構築にあたり、基幹システム向けWebプラットフォームの「Nexaweb」を利用することにより、「新保険料照会システム」における試算データ入力時の操作性やレスポンスの向上、保険商品や利用形態別にあったプログラムリソースの一元管理と重複開発の撤廃を同時に実現しました。

2005年4月、代理店向け保険料照会システムの再構築にあたり、全国約1万8千店に及ぶ代理店のシステム環境が多様化しているため、マルチプラットフォームとWEB/スタンドアローンシステム (以下、オン/オフライン) 双方の稼動を実現するソリューションについて検討開始しました。以前は、代理店保有あるいはアフラック専用PCIに個別にインストールして使用するスタンドアローン型システムと通常のインターネット経由のWebシステムなどの複数の保険料照会システムを同時に利用していたため、新商品発売時におけるシステムのメンテナンスもそれぞれに必要となり、コスト、開発期間、品質維持の面で課題を抱えていました。これらの保険料照会システムは、代理店の稼動環境によってチャネル毎にユーザーインターフェイスの機能や操作性が異なるため、それぞれのシステムの提供機能と操作方法を把握し、用途に応じてシステムを使い分ける必要がありました。

「代理店からも「これはこういう風に使えるのに、

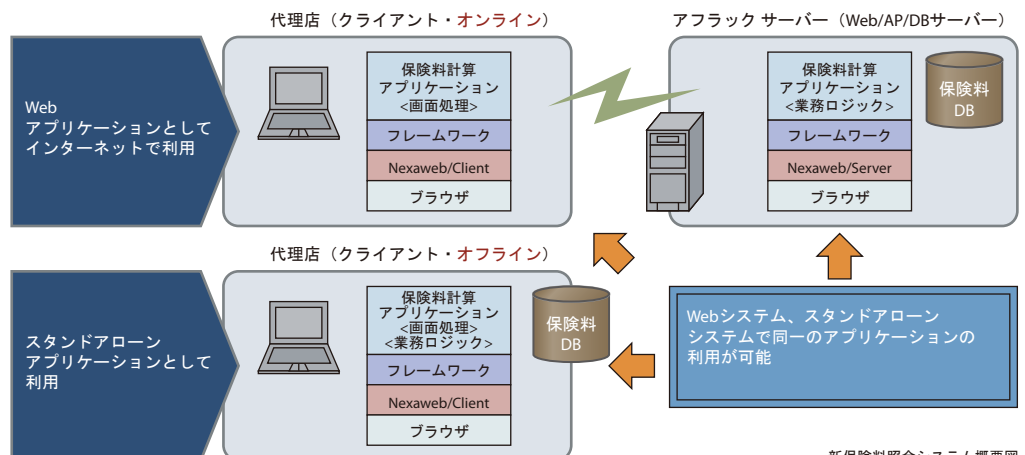
何故これは使えないのか。」とご指摘がある等、やはり対ユーザーで考えた時に機能面でストレスがあったと感じていました。システム開発サイドとしても、オン/オフライン稼動別にOSの種類やバージョン毎のシステム改定内容を運用する必要があったため、初期の開発期間だけでなく、新商品発売時に合わせたバージョンアップやメンテナンス性についても新たなソリューションが必要だと感じていました」(高橋氏)

### 導入システム概要

- 開発期間は9ヶ月
- 幅広いクライアントへの対応Javaならではの高性能にも期待

新保険料照会システムは、アフラックの営業活動を支援する為に各種販売チャネルに対して、保険料見積り機能をインターネット、イントラネット、およびe-App (専用モバイル端末) に提供します。ユーザーは専業代理店、金融機関系代理店、アフラック社員等に大別され、また、稼動環境という点では営業スタイルとインターネットへの接続状況に合わせ、オン/オフラインに二分されます。新システムでは、インターネット経由で全国の代理店などから情報センターにあるサーバーへの接続があり、保険申し込みにあたる個人向け設計書出力機能を利用する個人顧客は15万人以上になるものと予想されます。

代理店専用端末やインターネット経由など幅広い販売チャネルに対してのシステムであるため、キーボードのみの大量データ入力や入力後の顧客情報参照を高速レスポンスで実現されています。保険料見積り入力画面、見積り結果画面、保険料算出機能は商品別に提供しており、HTMLベースのページ単位の業務画面数と比較しても保険料照会システムの総画面数は52と非常にコンパクトになっています。保険料表 (レート) 出力機能や法人向け設計書は旧保険料照会システムとも接続しており、旧資産ともうまく連携しながら、スムーズに新システムへ移行されました。



新保険料照会システム概要図

## 採用の理由

- 既存システムの操作性を維持しつつ、利便性の高いWebアプリケーション
- サーバに依存せず、非同期通信を実現

システム開発を担当した株式会社日本総研ソリューションズ（以下、日本総研ソリューションズ）が、既存クライアントサーバーシステムの操作性や入力補助などの機能性を維持し、より利便性の高いWebユーザーインターフェイスを構築する為に、様々な実装方法（スクラッチ開発やDHTML、Flash、Java、スクリプトなど）やリッチクライアント製品の調査を実施。最終的には、社内でJ2EEベースの開発が標準化されていたため、クライアントとサーバー側の両方をJavaで開発が可能で、クライアントはマルチプラットフォームに対応しているという点がキーに。ブラウザベースの操作とレスポンスに違和感のないユーザーインターフェイスを提供し、オン/オフライン双方で稼働可能な画面・ロジックプログラムを実現可能なソリューションとして「Nexaweb」の採用が決定しました。

「入力項目も多く保険業務では、画面遷移も複雑なため、HTMLベースのWebアプリケーションで再構築することは現実的でないと判断しました。Nexawebを採用したポイントは、独自技術を利用せず、インターネット標準技術のJavaやXMLをベースに、特定のブラウザやOS、サーバー製品に依存せず、非同期通信を含めたリッチクライアント機能を実装できるという点です」（日本総研ソリューションズ）

## 導入効果

- わかりやすい操作性とレスポンスを共通のインターフェイス環境で実現
- 開発の効率化と品質向上によるコストと納期の削減

### ■VBライクな操作性とハイレスポンスを実現

Webベースのシステムで、クライアントサーバーシステムと遜色のない操作性とレスポンスを実現。保険料試算における多種多様なデータ入力に耐えるユーザーインターフェイスを実現（データ入力補足や入力チェック、IME制御、キーボードのキー指定など細かい入力機能有り）。

### ■情報セキュリティの向上と運用管理をスムーズに

更新機会の頻繁且つ多種多様な保険商品のプログラムリソースを一元管理。各代理店PCのランタイムのインストールが不要な点も、情報セキュリティの考慮する上でも大きなメリット。新商品発売時におけるシステムの準備や変更作業もスムーズに。

### ■非同期通信と差分更新による業務生産性の向上

年齢、性別、保険種類、保障額などの複雑なデータの更新やアプリケーションの画面遷移も差分情報のみを同期処理させるため、不要なサーバーへのアクセスとページ単位のリフレッシュを回避。入力業務中のブラウザ画面の裏側で、非同期に通信を併用し、変更された部分のみアップデートするために、より操作性の高いユーザーインターフェイスを実装。

### ■画面と帳票の一体化

保険料算出に関わる画面やプログラムを統一する一環として、個別の見積書出力プログラムの構築を廃止し、Nexawebをベースに帳票アプリケーションを構築。入力中の画面と帳票確認用の画面を統一することにより、画面イメージそのままの帳票を印刷イメージに出力。Nexawebの画面・帳票プログラムの一体化を実現。

### ■オン/オフライン双方で違和感のない共通ユーザーインターフェイスの提供

オフィスユーザー向けのオンライン向けシステムと、営業外出先でノートPC上で稼働するオフライン/スタンドアロンシステムで稼働可能な共通の画面・ロジックプログラムを構築。チャネル毎のユーザーインターフェイスの機能や操作性を統一し、それぞれのシステムの操作や機能を習得する負担が大幅に軽減。

### ■二重開発を撤廃し、開発の効率化と品質の向上を実現

オン/オフライン別の二重開発を撤廃し、Nexaweb Studioと日本総研ソリューションズの開発フレームワークの組合せにより、劇的に開発効率をアップ。

「短期間でのリリースを実現できたのは、プロトタイプの開発によりユーザーインターフェイスの画面デザインや操作性を事前に承認し終え、後戻り作業を回避したことです。また日本総研ソリューションズの開発フレームワークにより、Nexawebを中心にクライアントとサーバーサイドJava開発で統一できたことによります。オン/オフラインシステムの双方で稼働可能なプログラムソースを一元開発し、二重開発を防止することで圧倒的な開発生産性の向上と納期の短縮化を実現しました」（高橋氏）

「Eclipseの開発環境をベースに提供されている開発環境のNexaweb Studioを利用することにより、より複雑な処理を組み込んだNexawebアプリケーションのユーザーインターフェイス構築を効率的に進める事が可能です。Nexaweb Studioに関しては、単純な開発機能だけでなく、デバック機能の充実や他のEclipse対応Plug-inとの連携性も開発サイドとしては高く評価しています」（日本総研ソリューションズ）

## 今後の展開

- システムの改革で営業戦略につなげる
- Nexawebで業務を広げる  
リッチクライアントを実現

アフラックでは、代理店の保険販売を支援するシステムを営業戦略上の最重要なシステムのひとつと位置づけています。今回、日本総研ソリューションズはアフラックのシステムパートナーとして、保険業務に関する知識とシステム開発経験およびIT面での先進的なリッチクライアント技術「Nexaweb」の導入により、アフラックの代理店向けシステムのニーズを満たし、課題を解決するソリューションを提供することができました。



アフラック  
システム開発部 システム設計室  
高橋 信行氏



株式会社日本総研ソリューションズ  
金融事業本部 金融システム開発部  
井ノ口 恵美氏  
斎藤 大氏  
三輪 真也氏  
浜辺 隆太氏  
永沼 幸雄氏  
織笠 慎一郎氏  
三浦 圭介氏

※記載されている会社名および製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。  
※記載内容は取材日現在のものであり、内容については、予告なく変更する場合があります。



日本ネクサウェブ株式会社

〒104-0045 東京都中央区築地4丁目1-12 ビュロー銀座7F

TEL:03-3541-5061 FAX:03-3541-6457 Mail:info@nexaweb.co.jp

<http://www.nexaweb.co.jp/>

Copyright © 2005-2009 Nexaweb Technologies, Inc.

■お問い合わせ先